

(令和6年6月29日～9月23日開催)

番号	資料名	横×縦(cm)	所 属	年 代	備 考	目録番号
1	御道具扣	17.5×12.5	溝口伊織家文書	明和7(1770)年以降	浅倉ほか2013翻刻	伊織(景久)S07-1
2	御掛物帳	17.0×24.0	溝口伊織家文書	安政5(1858)年～文久3(1863)年頃		伊織(景久)S07-9
3	七間御土蔵御道具帳	17.1×24.6	溝口伊織家文書	安政5(1858)年～明治7(1874)年頃		伊織(景久)S07-8
4	蓄蔵物品目録	16.7×24.7	溝口家(葉山)文書	明治以降		溝口(葉山)A01-159
5	天王市島家南山亭市島家(写真)	—	—	—		—
6	源氏物語絵色紙形(49点)	16×12	市島家旧蔵資料	幕末～明治期	天王市島邸完成(明治10(1877)年)	—
7	耳盥	30.8×15.4 口径23.2、 高台径14.5	溝口伊織家資料	江戸期		—
8	鏡台	高64.3 箱部27.4× 27.4×27.4	溝口伊織家資料	江戸期		—
9	柄鏡	径24.0高さ33.8	溝口伊織家資料	江戸期		—
10	猊・南天文枕	上部:縦6.0横19.0 下部:縦12.2横 24.4高11.6	伝華鮮院所持	江戸期 側面に金漆絵による。南天・「猊」		—
11	源氏物語絵屏風	379.2×173.0	大倉文化財団寄贈品	17世紀後半以降の画帖を明治期に表具	向島大倉別邸で使用されていたとみられる。(鶴巻2023)	—
12	源氏物語玉櫛うた		原宏平旧蔵資料	明治・大正期		令和6年寄贈資料
13	漆器金蒔絵梅花文椀(10客)	身:口径12.9台径 4.9高5.5 蓋:口径11.4台径 4.5高3.3	伝華鮮院所持	江戸期(11代藩主溝口直溥正室婚礼品)	江戸期。溜塗。高台外面と高台脇は木地蠟塗。箱書き蓋「御吸物椀」「塗師道恵」側面「免取木地蠟色」「地黒模様梅の花」、「碧雲山房蓄蔵物品」印の貼紙あり	—
14	漆器螺鈿紫陽花文椀(5客)	身:口径12.7台径 6.0高6.5 蓋:口径11.9台径 5.6高4.3	伝華鮮院所持	江戸期(11代藩主溝口直溥正室婚礼品)	江戸期。外面漆絵と螺鈿による紫陽花文。螺鈿が剥落し鉛板(?)による修復が多く。螺鈿の遺存状態は芳しくない。箱は別物か。	—
15	修紫田舎源氏(源氏須摩之浦)3枚一組	25.3×37.1	中村克夫寄贈資料	元治元(1864)年	歌川豊国	中村克夫D-2-4-28
16	修紫田舎源氏(源氏君鵜飼遊図)3枚一組のうち1枚	24.8×36.6	個人蔵	元治元(1864)年	歌川国周	—
17	源氏物語現代語訳 光る君の物語(一～三)	B5版	当館所蔵	平成4～5(1992～1993)年刊行	板倉功	—
18	源氏物語現代語訳 玉鬘十帖	B5版	当館所蔵	平成3(1991)年刊行	板倉功	—
19	源氏物語現代語訳 三宮と柏木の物語	B5版	当館所蔵	平成4(1992)年刊行	板倉功	—
20	源氏物語現代語訳 光る君その後	B5版	当館所蔵	平成5(1993)年刊行	板倉功	—
21	源氏物語現代語訳 宇治十帖	B5版	当館所蔵	平成3(1991)年刊行	板倉功	—